

5 教職員全員で気をつけて取り組むべき5項目 『決まりを守る』

- (1) 綱紀保持に努める
 - ・体罰、暴言、飲酒運転、交通事故、個人情報の管理、セクハラ、パワハラ、公金管理、言葉遣いなど
- (2) 教職員同士の連携の強化
 - ・PDCA サイクルに則って、分掌間の情報を共有し、OJT の推進に努める。
 - ・諸会議等の計画的効率化（限られた時間を有効的に活用するため、会議は計画的、効率的に実施）
- (3) 学校施設・設備・備品の管理・取り扱いに注意
 - ・学校備品の整理整頓（使った物は責任を持って片付ける）
 - ・大切に使用する
 - ・掃除をきちんと行う
- (4) 時間厳守
 - ・授業の開始と終了
 - ・ホームルームの開始と終了
 - ・掃除の徹底
- (5) 提出物の期限を守る
 - ・外部への提出資料はもちろんのこと、内部提出の資料も期限を守る

2 取り組みとそれに対する評価

教 務	
目標（計画）	(1) 生徒の基礎力と学力の向上を図る (2) 新コースにおける学習内容の充実 (3) 教員として必要な資質向上のための研修をおこなう (4) 教員の授業力向上を図る (5) 建学の精神の深化を図る (6) 業務を簡素化し、効率的に仕事を進められるようにする (7) ICT 機器の積極的な活用を図る
実施事項 （活動内容）	(1) 週4回、朝の時間を使い、高校は週2回、朝学で一般常識や数学、社会、理科の基礎知識の定着を図っている。残りの2回（中学校は週4回）は読書の時間を設け、読解力や思考力、表現力を養っている。国語では校内漢字テスト、英語では校内英単語テストを年に4回実施している。（中学校はこれに加え、数学で年に5回の計算テストを実施している）成績優秀者には表彰を、点数が足りない生徒には、追試験をおこなうなど意欲的に学ぶ姿勢を育てている。 中学校・高校の特別進学コースは7時間目の授業や課外授業、土曜登校日などで学力向上や受験対策をおこなっている。高校の普通コースの生徒には、基礎学力講座や大学進学講座、准看対策講座を実施し、生徒のニーズに合わせた授業をおこなっている。 学力支援が必要な生徒に対しては、個別に学習支援をおこない、基礎知識の定着を図っている。
	(2) 今年度より高3でも新コースの授業がスタートし、2・3年ともに新コースでの授業が始まった。新しくなった進学コースでは、小論対策の授業や一般常識を養う社会実践講座の授業の実施、看護系進学コースは、高看や看護系大学合格を目指した演習授業や病院での看護体験、音楽・幼児教育コースは、幼稚園教諭による幼児教育研究の実施や幼稚園実習、公務員・情報コースは簿記検定取得を目指した授業や、至誠館大学の講師による公務員講座の実施など、各コースの専門性に特化した授業や実習をおこなっている。

	<p>(3) 今年度も様々な分野で職員研修をおこない、教員力の向上を図った。実施した内容は、学校教育の ICT 活用支援サービスのクラッシーの活用に関する研修、総合的な探究の時間の研修、大学入試に関する研修、発達障害の生徒や不登校生徒への対応などの教育相談に関する研修、危機管理研修、カトリック研修などをおこなった。必要に応じて、各教科、分掌でも研修をおこない、情報を共有し、連携を図った。</p> <p>(4) 各教科で研究授業を実施し、授業参観や事前事後の研究協議を通して、授業力向上に努めた。 電子黒板やプロジェクターなど ICT 機器を積極的に活用し、分かりやすい授業づくりに取り組んでいる。 年に2回授業アンケートを実施し、現状や課題を把握し、よりよい授業づくりに活かすことができた。また、全授業アンケートを教務で集計し、各教科で共有した。</p> <p>(5) 毎朝の朝礼で「朝の奉獻の祈り」と「光塩生徒の姿」を唱えることで、光塩の生徒が目指す生徒像を確認している。 学期に1回テーマをもとに「学院の精神」をホームルームの時間におこない、建学の精神について考えを深めた。</p> <p>(6) 昨年度に引き続き、書類や提出物の電子化、データ化に取り組んでいる。今年度は成績カードの電子化や職員朝礼や職員会議でのタブレットを使つての情報や資料の共有など、積極的に取り組んでいる。</p> <p>(7) 今年度は常勤教諭、中学生、高1・高2の生徒一人ひとりにタブレットが貸与された。それに伴い授業やポータル機能などを積極的に使う姿勢が見られた。</p>
<p>反省 (振り返り)</p>	<p>(1) 朝学や朝読は生徒にとって非常に有意義な時間になっている。ただ知識や常識がまだまだ乏しい生徒が多くいるので、定着するような工夫が必要である。漢字テストや英単テストも成績優秀者が多数おり、自ら学習する意識が身に付いてきている。課外授業や土曜登校日、個別学習においてもそれぞれ成果が表れている。</p> <p>(2) 活動内容のとおり、各コースにおいて専門的な取り組みができています。来年度も継続して行いながら、さらに実りある内容にしていきたいと考えています。</p> <p>(3) 専門の講師やスクールカウンセラーを招いての研修を実施できたので、教員一人ひとりにとって有意義な時間となった。各教員が研修で学んだ内容を生かしてほしいと考えています。</p> <p>(4) 昨年度同様、研究授業に対して教科によって意識が違うので、全教科がおこなうための取り組みを考えていかなければならない。</p> <p>(5) 担当が毎回「学院の精神」の修正を行い、よりよい授業へと深化してきている。生徒同様、教員ももっとカトリック研修を行い、知識や幅広い考え方を身に付ける必要がある。</p> <p>(6) 今まで記入や提出に時間のかかっていたものを簡素化したことで仕事の効率が上がった。</p> <p>(7) 一人ひとりがタブレットを持っていることで、多くの場面で ICT 機器を活用する意識が高まってきている。有効に使用できている場面が多くあった。</p>
<p>評価 (5段階)</p>	<p>4</p>
<p>来年度へ向けて</p>	<p>コースや選択の授業を見直し、より一人ひとりに合った内容を提供できるようにする。 今年度できなかった課題を早急に改善していく。 更なる効率化を目指して、簡素化できる業務を改善していく。 ICT 機器の更なる活用を促していく。</p>

進路指導	
目標（計画）	<p>1年：学習習慣を身につけ、基礎学力の確認・充実を図る。自分の適性を把握し、将来像を描く。</p> <p>2年：職業や学部・学科への知識を深め、自己の進路をより具体化する。</p> <p>3年：進路目標の達成のための学習計画を遂行し、就職や進学への本格的に取り組む。</p> <p>新入試に向け、正しい情報の収集、早急な対応、準備</p>
実施事項 （活動内容）	<ul style="list-style-type: none"> ・光塩会総会の日には保護者対象の進路説明会を実施。例年、5月に1回行っていたが、2月にも生徒・保護者対象に進学説明会を開催した。 ・1、2年生を対象に、教員が引率して大学のオープンキャンパスに参加した。今年度は、8月に2泊3日で、明治大学、早稲田大学、慶應義塾大学、青山学院大学のオープンキャンパスに参加。また、本校の卒業生が在学中である、上智大学と聖心女子大学のキャンパス見学も実現した。 ・夏休み中に専門学校オープンキャンパスに団体申込で参加。 ・新入試に向けて、校内職員研修の実施。 ・学期に1度の進路ガイダンスを実施。3学期は国語科を中心に現代社会の諸問題について学び、小論文対策の予定だったが、休校措置により実施できなかった。 ・1月に高2が山口県立大学とYIC専門学校を訪問。 ・公務員試験対策として、専門学校での説明会、研修に参加。 ・高大連携の一環として、講師を招いて公務員・情報コースの公務員講座の実施。 ・就職希望者に対しては、就職サポーターの助言をもらいながら、企業訪問や面接練習を実施。 ・進学希望者に対しては、受験前に面接練習を実施。 ・模擬試験の実施。（センター対策、2次試験対策、小論文対策等） ・夏期講習、センター対策講座など、年3回長期休暇中に課外を実施。
反省 （振り返り）	<ul style="list-style-type: none"> ・3年生になっても目標がはっきりしない生徒もおり、今年度は進路先が未定のまま卒業した生徒がいる。1、2年での進路に対する意識向上の指導や、情報収集、保護者の理解などの必要性を強く感じた。 ・受験方法も多様化してきており、各進学先への適切な対応策を考える必要がある。 ・2月に開催した進路説明会には多くの生徒、保護者の参加があった。今後も継続していきたい。 ・引率教員をつけての大学オープンキャンパスへの参加は今年度で3回目だったが、目標が具体化された良い機会になった。今後も継続していきたい。 ・専門学校のオープンキャンパスは、数校申し込んで参加をしたが、教員にとっても大変学ぶことが多かった。 ・進学希望者への面接練習も予定表を事前に提示し、計画通りに進めることができた。今後も早めに予定を立て、余裕を持って受験に臨めるようにしたい。 ・2年連続で実現できなかった福岡県の大学訪問を、来年度は実施したい。
評価 （5段階）	4
来年度へ向けて	<p>今後も新入試に向けての準備をしっかり進めていきたい。正しい情報の収集、ポートフォリオ、ICTの活用など、課題は未だ山積しているが、生徒の進路実現を第一に考え、迅速に対応していきたい。また、高大連携事業をもっと増やしていきたい。遠方へのオープンキャンパスへの参加や、県内の大学・専門学校訪問などは、進路選択の一助となるため継続していきたい。</p> <p>就職希望者は少人数だが、希望の職種に就けるように今後もしっかりサポートしていきたい。</p>

生活指導	
目標（計画）	<p>生活指導の目的 生徒一人ひとりの夢の実現に向けて、自分の言動に責任をもつことができる力（自己指導能力）を育成する。</p> <p>生活指導目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「規範意識を高める」「いじめを根絶する」 ・ルールやマナーを自ら守り、モラルの向上をめざす。 ・正しい服装をする。 ・遅刻をしない。 ・すすんであいさつをする。 ・場にあった正しい言葉づかいをする。 ・いじめを絶対に許さない。
実施事項 （活動内容）	<ul style="list-style-type: none"> ・試験期間中の校外巡視。 ・列車巡視（長門・須佐方面） ・いじめアンケート・生活アンケートの実施 ・携帯・スマホ安心安全講習 ・交通安全教室（自転車の乗り方について） ・各学年による服装検査
反省 （振り返り）	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションがうまくとれないことによるトラブルが目立った。 ・人間関係の悩みを抱える生徒が多く、教育相談、SCとの連携強化が必要。また関係を悪化させている要因の多くがSNSである。家庭と連携して情報モラル・マナーを身につけさせることが重要。 ・大きな服装の乱れはなかったが、靴下を下げたり、シャツの第一ボタンを開けたままにしたりする生徒が若干いた。 ・挨拶については、外部からお褒めの言葉をいただくなどほとんどの生徒ができていようである。しかし、相手や場に応じた言葉遣いができていない生徒が多いように感じられた。 ・LINE、Twitter等のSNSトラブルが数件あった。学校での指導は随時実施しているが各家庭での理解と協力が必要。
評価 （5段階）	3
来年度へ向けて	<p>生徒一人ひとりが校則の意味を考え行動できるように教育活動全体を通して指導する。また、ルールで縛り付けるのではなく、生徒自身がどのように行動することが良いのか状況に応じた的確な判断ができるように指導・支援をしていきたい。また、いじめの根絶に向けて、生徒のコミュニケーション力や人権意識を高める指導にも力を入れていきたい。</p>

教育相談	
目標（計画）	一人ひとりの子どもの自己実現に向けて、教育上の諸問題や不適応問題について、本人または、保護者、すべての教職員とともに解決に向けて取り組む。
実施事項 （活動内容）	<ul style="list-style-type: none"> ○「個別の支援計画」を持った生徒への対応 <ul style="list-style-type: none"> ・中学校との引き継ぎ ・保護者との事前教育相談 ・専門機関との引き継ぎ及び保護者を交えたケース会議 ・継続支援の実施 ・担任、教科担当への引き継ぎ ・学期ごとに学年会議（主に1年生）・本人と面談 ○気になる生徒の早期発見・早期対応 <ul style="list-style-type: none"> ・実態把握 ・必要に応じて面談と指導、支援の実施 ・学年会議後から、必要に応じて保護者面談と相談、支援 ・学校生活実態から、必要な生徒の学年会議 ○ケース会議

	<ul style="list-style-type: none"> ・問題発生の場合に、会議を実施 ・生活指導問題と関連して必要に応じて会議 ・スクールカウンセラーと共に、実態把握や支援に繋げるための会議 ・スクールカウンセラー、専門機関等との会議・保護者を交えての会議 <p>○情報収集</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前年度末に中学校との引き継ぎ ・本人への指導、支援、相談 ・担任、教科担当への支援 ・保護者に対する相談窓口 <p>○専門機関との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域コーディネーターとの連携、検査の実施 ・必要機関への訪問 ・医療機関との連携 <p>○スクールカウンセラーとの連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒、保護者、教員との面談 ・生徒情報及び状況から助言を受け、対応の実際 ・各学年、心理教育授業の実施 <p>○いじめ対策委員会への参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活指導と協力し、生活アンケート等からの会議 ・いじめ事案のケース会議への参加 ・実態把握
反省 (振り返り)	<p>現在の保健室の広さでは、休養をとっている生徒がいる時の相談活動は難しい。別室が離れている場合には、一人にして良いとき、いけない時を見極めないと危険であることを実感した。相談場所の確保に悩んだ。</p> <p>スクールカウンセラーにおいては、生活指導部と教育相談部の体制作りを図り、定期的な相談活動やケース会議、心理授業等が実施されている。必要に応じて、緊急の心理授業を実施し、生徒自身が、考える時間を持つようにした。教員研修でも、生徒の実態や問題点を組み入れて、考え、学ぶ時間をもらった。臨床医の専門的な立場から、意見や情報をもらうことができ、生徒、保護者、教職員の問題解決に向けて大きな助けとなり、指導にも生かすことができた。しかし、生徒の幼さを感じ、理解させることの難しさを実感している。また、相談件数が多かったため、十分なフィードバックができなかったように思う。が、職員と SC との関係が近くなり、気軽に意見を聞き合える体制になってきた。</p> <p>生徒の抱えている悩みや問題内容によっては、早急な連携と対応が必要であり、学校が、一体となって対応することができる様、校内体制を築き、教職員の意識を高めることも課題である。</p>
評価 (5段階)	4
来年度へ向けて	<p>各学年や各組織との連携を図り、問題が大きくならないうちに対応できるよう努めたい。担任が全てを抱えるのではなく、教育相談とも情報を共有し、共通理解に基づいた協力体制作りを図りたい。</p> <p>校内教育相談体制を明確にし、教職員が、気になる生徒に気づいた場合に行動がとれるよう、支援体制づくりをしなければならない。</p>

募 集	
目標 (計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員全員で募集活動に当たる ・萩市内の宣伝を強化する ・長門市での宣伝を強化する ・光塩会の協力を得る
実施事項 (活動内容)	<ul style="list-style-type: none"> ・スクールガイドなどの広報活動・広告、学校見学日やオープンスクール、萩ケーブルネットワークやはぎ時事への取材交渉などを全教員が分担し、責任者を中心に計画と活動を実施 ・中学校訪問は年 5 回全教員で行った ・小学校訪問は中学校教員を中心に年 2 回行った ・新聞折り込みチラシや TVCM などメディアを利用した宣伝活動 ・Facebook で学校の活動をいち早く情報発信

	・部活動の活躍により多くの横断幕を作成した
反省 (振り返り)	教職員だけでなく保護者の方々と連携をとって宣伝活動ができた。光塩会の協力で市内ポスター掲示をスムーズに行うことができた。新聞やテレビで本校の活動が多く取り上げられ、広く宣伝することができた。Facebookでの情報発信でより多くの人に本校の活動・取組を知ってもらえた。部活動等で生徒の活躍が多く、たくさんの横断幕を張り出した。
評価 (5段階)	4
来年度へ向けて	第一に地元である萩・長門地区の生徒・保護者にこれまで以上に本校の魅力を発信し、生徒募集につなげていきたい。また、他地域の生徒・保護者にも本校の取り組みや特色を伝えるため各種メディアを活用していきたい。今後も保護者の方々にご協力をいただきたい。

校 友 会	
目標 (計画)	生徒が自ら喜びをもって活動できる学校を作る 新たな企画を行うと同時に、今までの行事を充実させる 委員会、部活動と連携し、活動の幅を広げる
実施事項 (活動内容)	<ul style="list-style-type: none"> ○企画・運営 <ul style="list-style-type: none"> ・新入生歓迎会 ・文化祭 (出し物、World Vision チャイルドスポンサーの説明、マドレーヌ販売、) ・お楽しみ会 ・3年生を送る会 ○ボランティア活動 <ul style="list-style-type: none"> ・World Vision チャイルドスポンサー ・萩ふるさとまつり出店 ・萩総合支援学校の萩総まつり販売ボランティア等 ・H a g i 産業フェスタ出店 ・市内3校合同清掃活動 ・校内美化ボランティア2回実施 ○代議委員会 (月目標決定)、中央委員会の開催 ○校友会新聞発行 (各学期) ○朝のあいさつ運動、自転車の施錠点検の実施 ○高校生県議会参加 ○バザー寄付金の協力 (全校生徒へお願い) ○生徒の要望をまとめ、学校に提出 ○エフエム萩ラジオ出演 (学校紹介など) ○行事等の進行、あいさつ (壮行式、学校見学日、台湾留学生来校等) ○東京光塩との交流 (東京光塩訪問) <p>中学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ○中学校の行事の企画・運営 ○校友会新聞発行
反省 (振り返り)	執行部メンバーが掲げた公約の一つ、国際的なボランティア活動 (World Vision チャイルドスポンサー) を始めることができた。また、東京光塩との交流を再開することができよかった。限られた時間の中で、校友会執行部と各委員会が連携を図り、行事などで生徒一人ひとりが活躍できることを目指し、企画・運営に一生懸命取り組んだ。
評価 (5段階)	4

来年度へ向けて	<p>より良い学校づくりを目指すために、さらに生徒が主体となって活動できるよう、執行部メンバーと各委員会が協力し合い、行事等の企画・運営を行っていききたい。今年度始めた World Vision チャイルドスポンサーの継続、東京光塩との交流にも力を入れたいと考えている。</p> <p>また、中学校と高校の校友会が共に連携を図り、学校をもっと盛り上げたい。そのためには中高合同の行事等で、中学校の執行部メンバーが活躍できる場を作っていきたい。</p>
---------	---

国際交流活動	
目標	生徒の視野を広げるため、積極的に外国の方との交流の機会を計画する。世界共通語としての英語を使う体験を通し、日頃の学習意欲の向上につなげる。
実施事項	<p>萩市から依頼の外国客船歓迎セレモニー協力8回（カレドニアンスカイ号、シルバーエクスプローラー号、ル・ソリアル号）。</p> <p>インターナショナルワークショップ</p> <p>アメリカから1年間の交換留学生アニカが来校</p> <p>駐日外交団地方視察ツアー運営スタッフボランティア</p> <p>「Cross Cultural Days」として、2月に台湾から高校生、大学生14名の訪問</p> <p>4月と1月にメルセス会の副総長が来校され、生徒との交流を深めた。</p>
反省	<p>インターナショナルワークショップは、チェコ、メキシコ、フランス、中国、アメリカからのスタッフと日本人スタッフに参加してもらい、4日間の活動を行った。今年度も市内小学生の多数の参加があった。</p> <p>アニカは生徒との交流や学校行事を楽しんでいたが、新型コロナウイルスの影響で、早めにアメリカへ帰国した。</p> <p>台湾からの高校生、大学生の訪問は2日間という短い時間ではあったが、生徒や留学生にとって貴重な中身の濃い体験となった。</p>
評価（5段階）	4
来年度へ向けて	今年度は急にインドネシアからの留学生が来ることができなくなり、台湾から切り替えてもらった。CIEE との連携もとりながらインドネシアとの交流も続けていきたい。生徒にとって豊かな国際交流ができるように計画していきたい。

ボランティア活動	
目標（計画）	「奉仕の精神」を養う場、地域貢献の場として重要な活動と位置づけ、生徒が積極的に取り組めるようにする。地域貢献、異文化理解を柱に活動するメルセダリアン・インターアクトクラブ及び、学期末のボランティアへの登録者（インターアクター）を中心に、活発な活動を続ける。生徒自身に自覚を持たせるため、振り返りやまとめの機会を設ける。
実施事項（活動内容）	<p>1、2学期末に、「子ども発達支援センターからふる」「養護老人ホームつばき」「特別養護老人ホームオアシスはぎ園」を訪問し、清掃活動を行った。「老人ホームへの手紙」の活動を行った生徒もいる。</p> <p>校友会が呼びかけた校内の草取りや窓ふきのボランティアに多くの生徒が参加した。宗教委員会の呼びかけで、使用済み切手の収集、募金活動（More Than 300 Campaign、クリスマス献金等）、越冬支援、書き損じハガキ収集等も行っている。今年度は音楽・幼児教育コースの生徒を中心に、益田教会の子供向けの催しのボランティアにも定期的に参加した。</p> <p>今年も萩ふるさとまつりに萩光塩のブースを出展し、校友会、メルセダリアン・インターアクトクラブの生徒を中心に、展示・販売を行った。また、提唱クラブである萩ロータリークラブの支援を受け、メルセダリアン・インターアクトクラブの生徒が次年度指導者研修会、地区大会に参加し、県内及び広島県のインターアクトの生徒と意見交換を行った。</p>

	<p>その他ボランティアなどで参加した活動に、以下のものがある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法人E G F収穫祭（春、秋）・乙女峠祭り・萩教会バザー ・萩・卓球バレー交流大会　　・萩・ふうせんバレーボール大会 ・学習支援（明倫児童クラブ、椿東児童クラブ） ・越ヶ浜小学校サマースクール　　・サマーナイトフェスティバル ・放課後デイサービス（のびっこくらぶ、えーる） ・夏季熊本地震被災児あそぼうキャンプ ・みんなのJOYでレッツエンジョイ！　・24時間テレビ ・ほほえみ大運動会　・わくわくキッズフェスタ ・ハロウィンたまち&結まつり　・どれみのにこにこ運動会 ・萩総まつり　・萩ライオンズクラブ杯卓球バレーボール大会 ・萩城下町マラソン大会　　・クリスマスキャロリング（施設訪問） ・東北被災地ボランティア（福島）　　・萩市駅伝競走大会 ・浜崎地区雛人形飾り付け手伝い　・はたちの献血キャンペーン ・国際ソロプチミスト萩チャリティーバザー
反省 （振り返り）	今年度も多くの活動に参加することができた。その一方で、申し込み後にキャンセルをする事例もあり、生徒たちに予定の把握やボランティア先での態度なども考えさせていくことが必要だと感じた。計画していた生徒自身の振り返りの機会は学年や部活動内で行うことができた。
評価 （5段階）	4
来年度へ向けて	引き続き、生徒たちにさまざまな活動の機会を提供できるようにしたい。また、参加者の増加に伴い、事前指導を行うなど、地域で活動する上でのマナーなどにも留意させたい。

業務改善	
目標	教職員の業務内容を見直すことにより、労働時間の短縮を図り、かつ教材研究など本来の業務に充てる時間を確保する。
実施事項	成績カードの電子化、 Classiによる朝礼伝達事項の連絡時間短縮 ロイロノートによる職員会議資料の配付
反省	成績カードの電子化は学期末の忙しい時期には有効だった。 Classiによる伝達で、メモをとる時間が省け、伝達忘れも少なくなった。 ロイロノートで職員会議資料を配布することで、印刷の手間と用紙が省け、配布も簡単になった。教員も多くの資料を整理するのが簡単になった。
評価（5段階）	5
来年度へ向けて	校務支援システムを導入し、簡単かつ正確に成績処理等ができるようにしたい。これまでのClassi、ロイロノート、まちComiなども利用の幅を広げ、保護者への連絡なども簡単確実に行えるようにしていきたい。

3 保護者からの意見

高1オリエンテーション（萩セミナーハウス）（4月11日、12日）

1. 入学してすぐに行動を共に過ごし、楽しい思い出を作るだけでなく、これからの学校生活に生かしてゆければと思う。
2. 子供自身、様々な活動の中で友達作りもできた様で、学校生活への不安もこのオリエンテーションを通じてなくなったようです。

声楽コンサート（4月15日）

1. プロの方を身近に見て、感じる事ができ良かったです。
2. 毎年開催していただきたい。子供が、とても感動したと話していました。

携帯電話パソコン安心講習会（4月17日）

1. 数年後には親元を離れていく生徒が多いと思う。大切なことなので繰り返し家庭と学校で伝えていきたい。
2. 家庭でのスマホを使うルールなど、話し合ってみたいと思う。
3. 毎年定期的に開催していただき、とても有難く思います。携帯電話を持つ利便性と責任感について再認識できる良い機会だと思います。

体力テスト・交通安全教室（4月26日）

1. 身近な安全が脅かされている日々の中で、基本的なことを警察の方と学ぶのは大事だと思います。

進路ガイダンス（5月22日）

1. 「10回人に言う夢は叶う」という話が心に残ったようです。強い願いはいつか必ず叶うと私も信じています。大事な願いを持って一歩踏み出すことと思います。

萩光塩会総会（5月29日）

1. 多くの方が参加しておられたと思う。
2. 土・日にやっていただいたら出席できます。
3. 学校の取り組みや教育方針など、知ることができました。
4. 学校ができた経緯が分かって良かった。生徒からのお知らせがあり、生徒が主役の光塩学院と改めて感じた。自ら考え生徒主体でやっていて素晴らしいと思った。
5. 時間を長めに予定して、時間通りに終了するのが良いと思われる。

スポーツ大会懇親会（6月8日）

1. 楽しく交流を深めることができた。
2. 多く集まったので良かった。萩っ子では今回は幼稚園の父母と話をすることができ、3次会まで行った。しっかり光塩ファンになってもらおう！
3. 高1は初めてなので役員の参加しかありませんでしたが、とても楽しかったので、来年はもっと呼びかけたいです。
4. 少し長く感じた。同じチーム数くらいなら、11点先取にするなど...
5. 大変楽しく参加できたので、これからも続けていってほしいです。点数は10点くらいで1セット行わないと時間内に行事が終了しないと思う。

中学校修学旅行（サイパン 7月22日～7月28日）

1. サイパンの教会でピアノを弾けたこと、ホームステイ先でよくしてもらったこと等々貴重な経験ができた充実した1週間だったようです。

インターナショナルワークショップ（中学1、2年 7月23日～7月26日）

1. とてもよい行事なので、年に何回かあるといいなと思います。

学校清掃作業（7月27日）

1. 短い時間でも本当に暑かったので、熱中症対策が必要だと感じました。解散後に先生方

- が駐車場の草取りをされていたので、皆で行えば良かったと感じました。
2. 生徒も暑い中多く参加し、作業もスムーズにすすんだように思います。
 3. 作業開始時間が早く朝のうちに終わる事が出来てよかったと思う。生徒さんもたくさん参加していて良かった。
 4. 昨年に比べて参加者が大変多くスムーズに作業ができたと思います。各場所に指示出ししてくれる方がいればもっと早く作業できると思う。

萩夏祭りヨイショコショパレード（8月2日）

1. 保護者の団結力が良かった。楽しそうだった。
2. 学生の参加は少なめであったが、バカボンのパパスタイルが、光塩カラーが出ていて良かった。楽しめたと思う。今年が最後の年になるのが少しさみしいと思うぐらい楽しかった。充実したお祭りになったと思う。
3. 踊りを踊るといよりは、歩いていたという感じだった。参加人数が多く皆できれいに踊るなら、練習時間を増やすことと意識を変えないと難しいと思った。幼稚園から（卒業生？）高校生、保護者、先生方の参加があって、いい交流の場だった。そうめんとカレーおいしかったです。ありがとうございました。

体育祭（9月8日）

1. 暑い日の開催でしたが、担架で運ばれる子も無く良かった。当日のお手伝い（警備）と同様に、前日準備（テント等）も声かけされてはいかがですか？保護者が出来る選択肢を増やすという感じです。負担は増えないと思います。募ってもゼロかもしれませんがご検討ください。
2. 途中のグラウンド放水や水分補給など工夫がされていたので、体調不調があまりなく良かったと思います。来年からも引き続き工夫していただくと助かります。
3. 伝統競技などもあり、生徒1人1人が輝いていました。
4. 途中のパフォーマンスは楽しかったですが、もう少し短くてよいと思いました。
5. 短い練習期間だったと思いますが、見ごたえのあるものに仕上がっていたと思います。楽しく見ることができました。ありがとうございました。
6. 生徒一人一人の頑張る姿にとっても感動しました。毎年感じますが、光塩の体育祭はプログラムの内容が充実していて、応援するのが楽しいです。
7. この度は東中と重なり駐車場がどうなるかと思いましたが、NTTもありスムーズだったと思います。暑い事もあり、アイスクリームとか売ってるのはよかったと思いました。
8. 終了してから下校までが2時間ぐらいかかっていたように思いますが、1時間程度でできるように何か改善できる場所はないでしょうか。（片付けの段取りを改善してみてもどうでしょうか。）

開校記念日ミサ、講演（11月1日）

1. 始めて参加しましたが、生徒達も皆一緒に協力しながら行われていて感動しました。講演も良かったです。
2. 久々にミサに参加し賛美歌を歌いました。覚えているものですね。母子で講演に携われ、家庭での会話も弾みました。
3. 厳粛な雰囲気、自分はカトリックではないが心が洗われる気がした。ハレルヤがとても上手だった。全員が合唱部というわけでもないのに、先生の指導が素晴らしいと思う。講演はSDGsについてわかりやすく説明があり、参加してよかった。自分で出来ることをやろうと思った。
4. 卒業生の講演は生徒達にとって近い存在でもあり、有意義と思う。

萩・阿武中学校音楽会（11月7日）

1. 音楽祭はとてもすてきだったと思います。
2. 緊張したと思うが頑張っていたと思う。もう少し男子に元気があると良い。知っている曲がたくさんあって楽しかった。島伝統の歌と踊りを鑑賞できてよかった。
3. 当日までに朝練、放課後練習などが続きハードなスケジュールだったが、当日はすてきな合

唱を聴くことが出来、最後の中学校音楽会でさみしさも感じたが成長も感じた。

バザー（11月23日）

1. クッキー作りや自分のコーナーのポスター作りなど当日までに頑張って準備をしている姿を見て応援していました。当日も一生懸命に活動に取り組むことができていました。毎年のことですが、光塩の生徒の良さが、伝わってくる良い行事だと思います。
2. 初めてのバザー、帰ってからとても楽しかったと話してくれました。それなりに忙しかったようですが充実した1日だったようです。
3. ビスケットを買うための行列、40分から1時間待ちでした。年配の方も何人か並んでおられました。立ちっぱなしで途中とてもつらそうでした。もう少しスムーズに買える方法はないのでしょうか？待ち時間の間人の動きも停滞してしまいます。
4. ビスケット2回目で、1人5つ計算で並んだ人数でカウントするのはよい方法だと思う。リアルタイムで数えて打ち切り、並んだ人だけにできればなお良かったと思う。（打ち切るまで15分くらい並んだ方から「もっと早く」と言われていた。）
5. 私は半日の手伝いだったので昼食をとりましたが、終日の方は自分で発信しないとなかなか間で休憩を取るのが難しかったのではないかと思います。3年保護者が特に指示や皆が困らないようにサポートをされていたので助かりました。
6. 中学校の売り場6年目でしたが、となりの鯛焼きのレジがお金が無防備で毎年気になってました。よい人ばかりではないので会計受付の机を下げるとか、もう少し後ろにお金の入った缶を置くとかされた方がよいと思います。
7. 当日のみの市のお手伝いでは、前もって休憩時間を指定してもらい、休みが取りやすかったです。食事もゆっくりとれたし少し楽しんで買い物もでき、本来のバザーを楽しめました。ありがとうございました。
8. バザー当日にお手伝いできないので、前日と値札付けに参加しましたが、楽しくお手伝いできました。生徒さん達も自分の担当部署で頑張っていたと思います。
9. 皆様がすごく協力して頂いて手際よく物事が運びました。みにくいという意見や通りにくいので「一方通行にしてはどうですか」という意見も頂きました。
10. のみの市は場所が狭くてお客様が思うようにものが見れてなかった。

修学旅行（沖縄、グアム）（12月9日～13日）

1. グアムに行きました。修学旅行では、現地の学校で子供たちと交流したり、歴史を学んだり充実していたようです。出発前、添乗員の方の丁寧な説明で、準備がスムーズにできました。ありがとうございました。
2. 思い出に残る楽しい修学旅行だったと思います。グアムの高校生や、幼稚園での交流は大変良いと思います。
3. まめに写真での報告があり、安心して息子を待つことができました。また、現地での貴重な体験はこれからの人生に更なる経験の土台になることと思います。

キャロルコンクール・クリスマス祝い（12月19日）

1. キャロルはみんなで心1つになる過程が楽しかったと我が子は言ってました。他では経験できない体験ですね。
2. 各クラス、皆一生懸命歌っていて、とても綺麗な歌声でした。
3. 一丸となるキャロルコンクールは、練習の成果が如実に表れ、良いものを見せてもらえました。一つの行事に真剣に取り組む姿が良かったです。
4. クリスマス祝いという行事を通して、身のまわりの人々に感謝する心を育てることができ、光塩に入学させて本当によかったと思います。
5. 聖劇がわかりやすく楽しく鑑賞できた。疑問を子供に聞くと答えてくれたので、宗教の授業をちゃんと聞いているんだなと思った。

カルタ会（1月8日）

1. 毎年楽しみにしているようです。卒業してもふと思い出す句もあり、小倉百人一首とはまた違う良さがあると思います。
2. 百人一首は初めての経験で、あまり取れなかったと言っていました。昔ながらの遊びに触れる良い機会だと思います。

3. 中学生、高校生と一緒に参加することにより、親睦が深まるといいと思います。

萩市駅伝大会（1月19日）

1. 沿道から応援させていただきました。光塩の幟もあり、光塩ファミリーの団結の固さを改めて感じました。先生方、選手の皆様、お疲れ様でした。
2. 子供が卒業して何年か経っていても参加して下さる方がいて、光塩ファミリーの繋がりや強さを感じた。けがなく体調を崩すこともなく全員が完走されて素晴らしい。
3. スタート地点に置く荷物は、本人が行ってしまった後誰のものかわからなくなるので、名札をつけると良いと思った。他のチームと混ざって持ち帰ってよいか戸惑った。

生徒の学習・部活動・校内、校外での様子

1. 部活動は横断幕が常時見られるようになり、書道パフォーマンスなど光塩らしい活動も目立ってきていると思います。是非後輩たちが受け継いでいってほしいものです。
2. 礼儀正しい生徒が多いと思います。あいさつもよくしてくれます。
3. 進路についてですが、一人ひとりに応じた進路指導を引き続きしていただけたらと思います。具体的に進路先を絞り、その上で必要な条件（例えば、いつまでにオープンキャンパスに参加しなければいけない、推薦を受ける上での様々な必須条件等）を生徒本人とその保護者にも伝えていただけたら、早くから準備に取りかかることができます。
4. 生徒は自分から挨拶をしてくるので本当に心地よいです。慣れてきた生徒とおしゃべりをしたりもできる親しみやすさを感じられるので、来校しやすいです。
5. あいさつがとびかう校内がすてきです。中学生も高校生もみんな元気で覇気があり、他校と比べて生き生きしているのが、雰囲気も明るくていいと思います。ボランティア活動もとても積極的に参加しておられて、すばらしいなと思います。
6. ホームページをいつも拝見しています。部活動での活躍や地域貢献など、私たちが元気にしてくれる子供たちの姿を見て、うれしく思います。礼儀もとても良いと思います。
7. 先生方にはいつもきめ細かく子供たちを見て頂き、感謝の気持ちでいっぱいです。これからもよろしくおねがいします。
8. テニスコートの横を通るたび、部員さんがよく挨拶してくれます。気持ちのよい挨拶です。
9. 登下校、送迎をされていていつも思っていることですが、テニスコート前の駐車場に車を横付けされる方が多いように思います。そのため、車道で待っている車もあり、他の通行車両にも迷惑がかかるのではないかと思います。駐車スペースにきちんと車をとめるように、送迎される皆さんで気をつけるようにしてはどうかと思います。
10. 生徒皆が仲良く、楽しい学校生活が送れているようで、保護者としても大変うれしく感謝しています。
11. 光塩学院には多くの教職員の方がいらっしゃいます。今年度、特に感じたことは、常勤だけではなく、非常勤の講師の先生の、子供に対する温かい愛情です。（もちろん子供への接し方は、常勤や非常勤などという縛りはないのですが…） 教員の方々、講師の先生に、事務の方、たくさんの方に子供の育ちを見守っていただき、うれしく思います。

4 教員の自己評価と外部評価

教育目標をもとに 25 の項目を立て、教員一人ひとりが自己評価を行い、評議員に外部評価をお願いした。それぞれの項目について評価は 1～5 の 5 段階で行い、その平均を示した。

1. 2019 年度 学校目標		自己評価	外部評価		
1	教育目標	自分のまわりに喜びと光をまく人として、将来社会に貢献できる人材の育成に努めた	3.8	4.8	
2	教育目標	建学の精神をふまえ、すべての生徒がその個性と能力を最大限発揮できるようかかわった	3.7	4.6	
3	生徒に身につけたい力	主体的に学び、目標に向かって最後までやり抜く生徒の育成に努めた(基礎学力の定着、学力 UP)	3.6	4.7	
4		他者とかかわり、社会で働く知識と技能を身につける生徒の育成に努めた(話す力、伝える力の育成)	3.8	4.6	
5		自ら課題を発見し解決していく生徒の育成に努めた(自分で考える力の育成)	3.6	4.6	
6	私たちのミッション	萩光塩学院の教育理念を理解し、それを学校教育において日々具現化し、充実・発展させた	3.6	4.8	
7		各教科で研究を行い、生徒の基礎学力の定着と応用力の発展に努めた(具体的な取組みを考えた。行った)	3.3	4.6	
8		生徒の進路実現に向けて、現状の課題をみつけ、対策・強化に努めた	3.6	4.8	
9		地域との連携・協働を通じて生徒の役割や活動の場を増やし、生徒の自己肯定感の醸成を図った	3.3	4.9	
10	めざす教師像	教育的情熱・真剣さ	理想を掲げ、具体的な目標に向かって生徒と共に汗を流した	3.8	4.6
11			生徒一人ひとりのよさや可能性を引き出し、のばすことができた	3.5	4.4
12			受容的姿勢を大切にすると共に、生徒の将来を意識して「是は是、非は非」とした指導ができた	3.9	4.4
13			真摯な態度で職務に取り組み、モラルの向上と綱紀の保持に努めた	4.0	4.5
14	めざす教師像	教育的力量	教科研究・教科指導に積極的に取り組んだ	3.8	4.5
15			責任をもって自分の責任を果たすと共に組織の一員であることを忘れず、助け合うことができた	3.8	4.6
16			生徒や保護者、地域との連携を図り、迅速に対応することが信頼関係を築けた	3.6	4.5
17			各種学校との交流を深化し、地域が本校に求める情報等を入手し、学校運営等に反映させた	3.3	4.5
18	人間力を高める総合的な	総合的な	日常生活全てにおいて、前向きに自分自身を成長させていこうとする考えや姿勢をもって行動した	3.5	4.3
19			自ら考え、工夫し、チャレンジ精神を忘れず実践した	3.6	4.3
20			自らの個性や特技を積極的に発揮することができた	3.6	4.5

21	教職員全員で気をつけて取り組む5項目 『決まりを守る』	綱紀保持に努めた ・体罰、暴言、飲酒運転、交通事故、情報管理、セクハラ、パワハラ、 公金管理、言葉使い等	4.2	4.6
22		教職員同士の連携強化に積極的に努めた ・PDCA サイクルに則って、分掌間の情報を共有し、OJT の推進に努 めた ・諸会議の計画的効率化に努めた(時間の有効活用のため事前の計 画・準備を忘れずおこなった)	3.5	4.2
23		学校施設・設備・備品の管理、取扱いに気をつけた ・学校備品の整理整頓、使用後の清掃などをきちんとおこなった	4.0	4.3
24		時間を守る ・授業の開始と終了、ホームルームの開始と終了、掃除・勤務時間等 の厳守に努めた	4.0	4.6
25		提出物の期限を守る ・外部、内部の提出物の期限は確実に守った	3.6	4.6

5 学校関係者評価委員会の意見	
募集	<ul style="list-style-type: none"> 今年度は京都大学合格や卓球の全国3位など、学業や部活での活躍が目立ち、生徒たちが学校の宣伝をしてくれた年であったが、この状態をぜひ続けていってほしい。
教務	<ul style="list-style-type: none"> 教員が ITC 機器を積極的に利用していることも良いが、生徒にもそれを使う技能を身につけさせてほしい。また、職場でコミュニケーション力が足りない若者が多くなってきたので、学校でもその力をつけてほしい。
生活指導	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の服装などが以前と比べて綺麗になったが、全体的に幼いところも目立つので、もっとたくましさも必要ではないかと思う。 SNS の問題については、ほとんどの生徒がスマートフォンを持っているので、学校でもその使い方をしっかり指導してほしい。大人でもトラブルを起こすものなので、生徒はもちろん保護者に対しても伝えてもらいたい。
その他	<ul style="list-style-type: none"> 最近他校より光塩の方が人気があり、進学就職の面倒見が良いと聞いている。 職場でも光塩の活躍を聞いて鼻が高い。 色々なところから声をかけられ光塩の良い評価をいただく。日頃の活動の成果であると思うので、地域でも支えていきたい。